

公益社団法人 酒々井町シルバー人材センター
平成 27 年度事業報告書

1. 総括

平成 27 年度政府は、経済の好循環の実現のため、民間企業に対し『官製春闘』とも言われる賃上げを求めました。これに対し民間企業は 3 年連続ベースアップを行ったものの、円高や世界経済の減速などから、昨年の妥協額を割り込む回答が相次いだとのことです。

また、労働者の 7 割を占める中小企業にあっては、ベースアップを実現できないところもあり、結果的に企業の格差が広がったとも言われております。

一方、地域社会においては、団塊の世代が高齢者世代に突入し、高齢者人口の増加とともに、働く意欲のある高齢者も増加し、これに応えるべくシルバー人材センターの果たす役割が今後ますます重要になると思われます。

こうした中、当センターは発足 7 年を経過し、会員数は 1 5 1 名に達しました。

なお、平成 27 年度の受託事業実績は 6 9, 5 3 2 千円（前年度比 8% 増）となり、前年度に引き続き、第 1 次中期計画を大幅に上回る成果を得ることができました。

これは、町民の皆様はじめ、お客様の当センターに対する深いご理解、ご信頼を頂くとともに、町当局のご指導と会員各位のたゆまぬ努力の結果であり、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

昨年の夏から秋にかけて、平成 2 4 年度に引き続き、第 2 回目の『お客様満足度調査』を実施しました。前回にも増していろいろなご意見等があった中、回答者の約 85% のお客様から『今後も仕事を依頼する』との結果が得られました。

このことは、会員各位のこれまでの努力の賜物であり、当センターにとって大変心強く、今後とも更なる満足度の向上を目指したいと思っております。

また、昨年 10 月には、地域班毎に『地域班会議・懇親会』を開催したところです。

シルバー事業及び当センターの現状認識とともに、会員相互の交流・親睦を目的に開催いたしましたが参加された会員各位にとって、実りある有意義な会だったのではないかと思います。

この様なことを踏まえ、当センターとしては、会員が生きがいを持って楽しく仕事することにより、町民の皆様と一体となったシルバー人材センターとして、今後とも地域に密着した活動の展開に努めてまいります。

2、会員の拡大

平成27年度の会員数は155名を目標にスタートし、会員の口コミ、チラシ配布、町広報誌等の活用により、積極的にPRを進めてまいりました。

年度中の新規入会者は22名、退会者は18名となり、年度末現在では、概ね目標どおりの151名（男性121名 女性30名 前年対比4名増）の会員数となっております。

女性会員は、入会者5名、退会者3名で、在籍会員数は前年対比2名の増となっております。

また、当センターの会員平均年齢は71.7歳（男性71.8歳、女性71.4歳）となっております。

今年度は、囲碁打ち、傾聴等の新しい職種希望の方も入会され、人材センターの職種が広がりました。

来年度は、高齢者福祉サービスへの対応を考慮した、女性会員の入会促進を図るべく、会員の知恵やアイデアをお借りして、勧誘活動に尽力してまいります。

個別の活動結果は、次のとおりとなります。

（1）会員の募集

①チラシ配布の実施

- ・ふるさと祭り会場でのチラシの配布（2日間・約1,000枚）
- ・事務局員による町内全域へのポスティング（1月、2月、3月 約3,320枚）
- ・仕事先周辺家庭への作業実施会員によるポスティング

②町広報誌「ニューしすい」（8回）及び「社協しすい」（4回）でのPR

③町行事への参加 盛年式でのブース展示と来訪者への説明（9月）

④シルバー軽トラックにマグネット板で会員の募集を掲示

（2）入会説明会

毎月第2月曜日 午前11時開催（原則）

（入会希望者の要請による臨時説明会の実施）

（3）班会議及び懇親会の実施

各班別会議の開催（10月中に、延べ5回の開催 参加者72名）。

会議は、事務局からのセンター活動報告と参加者からは活動報告に対しての活発な質疑応答があり、会員相互の理解と親近感が深まりました。

また、会員からは、今後のセンター運営の参考となるご意見やご要望を聞く機会を得ることができました。

なお、懇親会では、普段会話の交わすことのない会員相互のコミュニケーションの場を作ることができました。

これにより、会員の定着化や口コミによる新規会員の勧誘につながる行事となりましたので、来年度も引き続き実施してまいります。

(4) 懇談会の実施

6月の定時総会後に予定された懇談会が、時間制約の都合で実施できませんでしたので、来年度は、会員の皆様が集まる良い機会ですので、懇談会を実施します。

(5) 宿泊親睦会の実施

本年度の宿泊親睦会は、実施できませんでしたが、来年度は参加者を募り親睦会を開催する計画を予定してまいります。

(6) ふるさと祭りへの参加

- ①チラシの配布と問合せ者への説明及び会員の募集活動を行いました。
- ②焼きそば・コーヒー・手芸品等の販売を行いました。

(7) 広報誌の発行

会報誌「酒々井しるばー」を1月と7月に発行、「シルバーだより」を4月と10月に発行し、会員及び関連部署への情報の提供に努めてまいりました。

(8) ユニフォーム・帽子等の着用

会員の自尊意識の高揚と作業中の姿を住民の皆様に見て頂くことがPR活動に繋がることから、来年度も着用を勧奨してまいります。

3.受託事業の拡大

受託事業は、政府が掲げる『成長と分配の好循環の創設』を基に、順調な伸びを示し、平成27年度の事業実績は、派遣金額を除いて、受託金額・受託件数ともに26年度を大幅に上回ることができました。

なお、受託事業実績及び活動内容は、次のとおりとなっております。

(1) 受託事業実績

受託金額	69,532千円	(前年比	+	5,164千円)
受託件数	1,318件	(前年比	+	120件)
派遣金額	729千円	(前年比	△	5,080千円)

(2) 町委託事業

公共委託事業は、年々増加傾向にありましたが今年度は、新たな事業の受託がありませんでした。

来年度は、福祉サービス事業等の開拓に向けて、町当局と協働作業による事業拡大の推進を図ってまいります。

(3) 福祉・家事援助・生活支援サービス

日常生活で、ちょっとした困りごとに対応して、実施している軽作業サービス(30分以内/500円)の利用は数件にとどまっていますので、来年度は、チラシ等でのPRを強化し、高齢化社会に向けたサービス事業の受注の拡大を図ってまいり

ます。

(4) 一般家庭受託事業

会員の努力と町広報誌・チラシ配布等の効果により、今年度は145件の新規受託件数の増加となっております。

また、来年度は、新規受託拡大のため、お客様満足度調査結果等のご意見を参考として、努力してまいります。

(5) 自主事業

① 町の荒廃地環境保全協働事業の補助金を受け、昨年度に引き続き、景観作物として「そば」を栽培し、環境の保全に努めてまいりました。

来年度は、春と夏の2回そばの作付を行い約6か月間にわたり、景観の保全を保ってまいります。

②「酒々井ふるさと祭り」に例年どおり参加し、焼きそば・コーヒー・手芸品等の販売とシルバー会員の募集活動を実施いたしました。

(6) 公平な就業機会の提供

会員の業務の公平化を推進するため、新規会員及び会員同士のローテーション等による就業機会の公平化に努めてまいりました。

(7) 一般労働者派遣事業

平成24年度から行ってきた、ジョイフル本田富里店への派遣事業が4月に終了となりました。

4、適正就業と安全就業対策の推進

(1) 事故発生状況

傷害保険適用事故は1件ありましたが物損事故はありませんでした。

(2) 安全適正就業委員会の開催

毎月開催し「全国及び千葉県シルバーの事故状況」や「他のシルバーの安全取組」等を検討し広く不安全要素の芽を事前に発掘・発見し、安全ニュース等で適宜、会員に注意喚起を行ってまいりました。

(3) 安全講習会等の開催

①4月21日、5月12日に町生涯生活センターにて植木剪定、草刈り、集草作業に伴う安全対策講習会を実施いたしました。(受講者・・・43名)

②4月21日振り込め詐欺対策講話を実施いたしました。

講師：佐倉警察署員 (受講者・・・32名)

(4) 安全パトロールの実施

安全適正就業委員等による安全パトロールを5回実施し、安全作業の確保に努めてまいりました。

5.研修の充実

(1) 技能講習会の実施（実技）

①草刈講習会

4月21日 酒々井町総合公園で実施。

5月12日 酒々井町生涯生活センターで実施。

（受講者・・・37名）

②剪定講習会

2月23日 午前 基本剪定・座学 の実施。 （受講者・・・24名）

午後 成田山新勝寺にて安全祈願後、公園内の樹木を見学し、今後の剪定作業に活用。

2月27日 大室台小学校にて、ボランティア剪定及び実技講習会の実施。

28日 （受講者・参加者・・・48名）

6.普及啓発

(1) インターネット（ホームページ）の活用

適時に、ホームページを更新するとともに、利用しやすいものにするため、適切な運営管理に努めてまいりました。

また、業務、財務等の情報についても情報公開しております。

(2) チラシの活用

高齢化社会に向けた生活支援サービス事業等の増加が予測されるため、人材募集や新たな仕事の開拓に向け、町内全域を対象にチラシのポスティング（約3,320件）を実施しました。

(3) 社会参加活動の推進

① 町主催のふるさと祭り及び盛年式の会場において、当センターのPRとチラシの配布を行うとともに、住民とのふれあいの場を設定してまいりました。

② ボランティア活動として、大室台小学校の植木の剪定（講習会兼）を実施しました。

7、調査研究

(1) お客様満足度調査の実施

平成24年度に引き続き、第2回「お客様満足度調査」を実施し、お客様の声を事業活動に反映する取組を実施しました。

・対象者555件 回収件数264件（回収率47.6%）

(2) 適正就業の推進

公益社団法人として、法令遵守（コンプライアンス）に沿った、請負契約を締結するとともに、当センター事業の自主点検を行い適正就業の推進に努めてまいりました。

(3) 研修会参加による調査研究等

センター運営の充実・強化を図るため、役職員の資質の向上を目的として、県シ連**合会**等の各種講習会に参加してまいりました。

8、相談・情報提供

(1) 入会説明会

高齢者（60歳以上）を対象に、毎月第2月曜日（原則）に入会説明会を開催し、入会希望者に対する情報提供や相談に対応してまいりました。

(2) 職業紹介事業

町民や会員に対する雇用・就業等の相談及び情報提供の場を設けてまいりましたが希望者等がなく成果がありませんでした。

来年度は、県シ連合会や関連機関と連携を図りながら職業紹介事業の推進に努めてまいります。

(3) 情報公開

以下の情報提供は、センター内閲覧とともにホームページ等で行ってまいりました。

- ①事業計画
- ②事業報告及び決算報告
- ③講習会等への参加募集
- ④調査研究結果

以上